

夏のイベント★参加者募集!!

中央図書館

1. でかぞうクラブ 【おばけ👻ショット作りとおはなし会】

日時：7月26日(金) 10:00~11:30 場所：中央図書館 4階 視聴覚室

対象：小学1~4年生 定員15名(先着順) 費用：無料

申込：7月17日(水)9:30~ 中央図書館2階 児童書フロアへ

2. おはなしの庭【ストーリーテリング(すばなし)】

日時：8月7日(水)・21日(水) 10:30~11:10

場所：中央図書館 2階 おはなしのへや

対象：5歳くらいから小学生

定員：各回20名程度(先着順) 費用：無料

申込：7月24日(水)9:30~ 中央図書館へ(電話可)

狭山台図書館

1. ビブリオバトル

日時：7月28日(日)・8月25日(日) 15:00~16:00

場所：狭山台図書館 2階 視聴覚室

対象：小学生~大人 費用：無料 申込：不要 持ち物：おすすめの本1冊

2. プッカー体験

日時：8月7日(水)・8日(木) ①11:00~12:00、②15:00~16:00

場所：狭山台図書館 2階 視聴覚室

対象：小学4~6年生 定員：各回4名(先着順) 費用：無料

申込：7月20日(土)9:30~ 狭山台図書館へ(電話可)

3. わくわくサイエンス 【フライホイールカーの実験】

日時：8月10日(土) ①13:00~14:30 ②15:00~16:30

場所：狭山台図書館 2階 視聴覚室

対象：①小学1~2年生(要保護者同伴) ②小学3~6年生

定員：各回8名(先着順) 費用：100円

申込：7月17日(水)9:30~ 費用を持って狭山台図書館窓口へ

4. でかぞうクラブ 【タイルコースター作りとおはなし会】

日時：8月17日(土) 14:00~16:00

場所：狭山台図書館 2階 視聴覚室

対象：小学3~6年生 定員：8名(先着順) 費用：無料

申込：7月21日(日)9:30~ 狭山台図書館へ(電話可)

5. ミニ・ビブリオバトル

日時：8月24日(土) 13:30~15:00

場所：狭山台図書館 2階 視聴覚室

対象：小学3~6年生 定員：10名(先着順) 費用：無料

申込：7月27日(土)9:30~ 狭山台図書館へ(電話可) 持ち物：おすすめの本1冊



よむぞうタイムズ 88号

3年生 4年生

狭山市立図書館 2024.7.15 発行

わたしたちは毎日いろいろな「もの」を使って生活している。便利な「道具」や楽しい「グッズ」。今回はそんな身の回りにある「もの」たちがかつやくする本をしょうかいするね。



『チキチキバンバン』ぼうけん その1 (JS71)



イアン・フレミング/作 ジョン・バーニンガム/画
渡辺 茂男/訳 富山房

探検家で発明家のポットさんは、捨てられるすん前のおんぼろ車を手に入れた。三か月かけて一生けん命修理すると、車は世界一美しく生まれ変わった。おまけにダッシュボードには、なにに使うのかわからないスイッチがたくさんついている!?

じつは、この車にはすごいひみつがあったんだ。

ぼうけん その2(JS72)、ぼうけん その3(JS73)も読んでみてね。

『鳥博士と天才カラス』(EKオ)

樋口 広芳/作 おおたぐろ まり/絵 文一総合出版

道具を使うのは、人間だけ?いやいや、動物だって使っているよ。カラスは人の行動を観察して、とても上手に「もの」を利用して。鳥博士が出会ったのは公園の水道の栓を回して水を飲むカラス。いったいどんな方法で水を出すのかな。



図書館のホームページから、読みたい本の予約ができます。イベント、開館時間、休館日等の最新情報はこちらからご確認ください。

狭山市立中央図書館 ☎ 04-2954-4646

狭山市立狭山台図書館 ☎ 04-2958-3801

狭山市公式HP <https://www.city.sayama.saitama.jp/>



『えんぴつはだまって』(JDア)

あんず ゆき/作 たごもり のりこ/絵 文楽堂



エリカが学校でひろったさえないえんぴつ。ただの落し物？なんて思ったら、いきなり「すてたら、あかん」なんてしゃべりだした。どうやら、つくも神がついているらしい。なかよくしたら、テストで百点取らせてくれるっていうけれど、本当かな？おまけにえんぴつと話しているのを近くの子が聞いていた。ぜったいぜつめいの大ピンチ！

『駄菓子屋をまもれ!つくも神大作戦』(JDア) もつくも神が大かつやくするよ。

『文房具を使いこなす』I (J589ア I)

道具のチカラをMAX引き出すチカラをつけよう! 書く道具 えんぴつ・ペン

WILL こども知育研究所/編 フレーベル館

きみの使っている文房具には、たくさんのひみつがあるんだよ。毎日使っているのに、意外と知らない道具の力。まずは、書く道具の歴史や種類、使い方を探ってみよう。この本を読んできみも文房具博士になっちゃおう。

『文房具を使いこなす』は、全部で4巻(J589ア 1~4)あります。

- 2.切る道具
- 3.くっつける道具
- 4.はかる・引く道具



『ものいうなべ』(JAハ) デンマークのたのしいお話

メリー・C・ハッチ/文 渡辺 茂男/訳
富山 妙子/絵 岩波書店



びんぼうなおひやくしょうさんが、一頭しかいない牛を売りに市場へ向かった。すると、見知らぬ人がなべと牛を取りかえようと言ってきた。断ろうとすると、なんとなべが「わたしをとっとけ、とっとけ」としゃべったではないか。

さて、なべを持ち帰ったおひやくしょうさんに、なにかよいことがおこるのだろうか。

この本には、全部で8つのお話が入っています。

『AI マスクはいかがですか?』(JPア)

赤羽 じゅんこ/作 たんじ あきこ/絵
フレーベル館



「高性能、高機能の『AI マスク』はいかがですか？」公園でピエロがマスクを売っていた。なやんでいる人間を助けたくて開発した、特別仕様のものだという。使ってみると、なるほどとってもいい感じ。でも、自分でかしくなるAIマスクがかってに考えて、思わぬトラブルをひきおこした。さあ、きみならどうする？

『風をつかまえたウィリアム』(EEズ)

ウィリアム・カムクワンバ/文
ブライアン・ミラー/文 エリザバス・ズーノン/絵
さくま ゆみこ/訳 さ・え・ら書房

ウィリアムの村は、電気もないし、雨が降らないと水もない。日照りが続いたある年、作物が枯れて食べるものさえなくなってしまった。

そんな時、ウィリアムは図書館で「木より高くそびえるきかいの写真」を見て考えた。

「風がふけば電気がつくれる。」アフリカの貧しい国に生まれた14歳の少年が、風力発電機を作った本当の物語。



『つかう?やめる?かんがえようプラスチック』(J519キ)

キム ウンジュ/ぶん 田崎 智宏/監修・解説
清水 知佐子/訳 イ ジウオン/え ほるぷ出版

プラスチックは軽くてじょうぶ。しかも、自由に形が変えられる。発明されて160年余り、プラスチックでいろいろな道具が作られてきた。

しかし、問題発生! 私たちがたくさん使えばそのぶんゴミも増えていく。じょうぶだから、いつまでたってもなくなる。わたしたちは、プラスチックとどうつきあっていけばよいのだろう。



<さやまの100冊> 「子どものときに読みたい本100冊」(さやまの100冊)は、教育委員会がおすすめしている本です。ぜひ、読んでみてください。

